

問1 東北地方では、青森ねぶた祭や仙台七夕まつりといった伝統行事が重要な観光資源となっています。2024年の統計資料によれば、これらの祭りは多くの観光客を呼び込み、地域に多額の利益をもたらしています。このように、祭りの開催によって宿泊施設や飲食店、交通機関などの売上が増え、地域全体に及ぼされる経済的な波及効果を何といえますか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)

1. 過疎化の抑制 2. 経済効果 3. 地産地消 4. 伝統的工芸品

問2 東北地方において、津軽塗や南部鉄器といった伝統的工芸品が古くから発展してきた背景を説明したものととして、最も適切な理由はどれですか。 (2022年 京都府公立入試 類似)

1. 江戸時代に整備された五街道のすべてが東北地方を起点としており、物流の拠点であったため 2. 積雪の多い冬の農閑期に、屋内でできる貴重な現金収入源として技術が磨かれたため 3. 東北地方は8つの県で構成される広大な地域であり、各藩が共通の特産品を推奨したため 4. 一年を通じて温暖な気候に恵まれ、屋外での大規模な手作業に適していたため

問3 東北地方の伝統文化について、都道府県名とその地域を代表する祭りの内容や特徴の説明として、最も適切な組み合わせを選んでください。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)

1. 岩手県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」 2. 秋田県 — 豪華な吹き流しや短冊などの飾りを竹に吊るす「七夕祭り」 3. 宮城県 — 多数の提灯を吊るした長い竹竿を稲穂に見立てて操る「竿燈祭り」 4. 青森県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」

問4 東北地方の地形について、中央部の南北に走る奥羽山脉と、その東側に位置する北上山地の特徴を比較した記述として正しいものはどれか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)

1. 奥羽山脉はリアス海岸を形成する原因となっており、北上山地は日本最長の山脈として中央部を貫いている。 2. 奥羽山脉は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くならかな高原状の地形である。 3. 奥羽山脉は標高が低くならかな高原であり、北上山地は火山活動が盛んな険しい山脈である。 4. 奥羽山脉は東北地方の西側に位置して日本海に面しており、北上山地は中央部を南北に走っている。

問5 福島県内陸部に位置する若松は、太平洋沿岸の小名浜に比べて冬の気温が低く、年間の気温の変化（年較差）が大きいという特徴があります。若松の1月の平均気温が約1度、年間の降雪日数が約102日であるのに対し、小名浜の1月の平均気温は約4度、降雪日数は約24日となっています。若松において、冬の降雪日数がこれほどまでに多くなる地理的な要因として最も適切なものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)

1. 日本海側から吹き込む湿った季節風の影響を強く受けるため 2. 黒潮（日本海流）の影響で大気が不安定になり、雪雲が発達しやすいため 3. シベリア高気圧から吹き出す乾いた風がフェーン現象を起こして冷え込むため 4. 太平洋側から吹き込む湿った南東の季節風が奥羽山脉を越えてくるため

問6 東北地方の三陸海岸沖は、世界的な優良漁場として知られています。この海域において、南北からの異なる海流が交差することによって生じる現象と、それが漁場に与える影響についての説明として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2025年 徳島県公立入試 類似)

1. 日本海側からの対馬海流が合流することで、サンマやイワシなどの暖流にすむ魚だけが集まる漁場となる。 2. 寒流と暖流が打ち消し合うため、水温が急激に低下して魚の種類が減少し、漁業には適さない海域となる。 3. 寒流と暖流が交わる「潮目」が形成され、プランクトンが豊富に発生するため、多様な魚が集まる優れた漁場となる。 4. 寒流のリマン海流の影響を強く受けるため、年間を通じて海面が凍結し、養殖業を中心とした漁場となる。

問7 青森県の産業構造について述べた次の記述のうち、正しいものはどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)

1. 国内貨物海上輸送量は東北地方で最も多いが、農産物の産出額は全国的に見て低い水準に留まっている。 2. 果実の産出額は全国上位五位以内であるが、漁業生産量は全国平均を下回っており、海上輸送より陸上輸送が中心である。 3. 漁業生産量は全国トップクラスであるが、果実産出額は東北地方の中でも低く、一次産業の偏りが大きい。 4. 漁業生産量と果実産出額が共に全国五位以内という高い水準にあり、国内貨物海上輸送量も東北地方で二番目に多い。

問8 日本の広域地方区分において、東北地方の地理的特徴について説明したものととして最も適切なものを選びなさい。 (2026年 長野県公立入試 類似)

1. 福島県は東北地方の中央部に位置しており、太平洋側と日本海側の交通の要所となっている。 2. 福島県は東北地方の南端に位置しており、関東地方から新幹線などで北上する際の起点となる。 3. 福島県は東北地方の西端に位置しており、北陸地方から新幹線が直接乗り入れている。 4. 福島県は東北地方の北端に位置しており、北海道との物流において重要な役割を果たしている。

問9 東北地方の奥羽山脉より西側に位置する地域において、冬の降水量（降雪量）が夏よりも多くなる主な要因として正しいものはどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)

1. 湿った北西の季節風が奥羽山脉にぶつかり、上昇気流が発生するため 2. 梅雨前線が山脉の西側に長期間停滞し、湿った空気を供給し続けるため 3. 湿った南東の季節風が奥羽山脉にぶつかり、上昇気流が発生するため 4. 暖流である日本海海流の影響で、冬でも気温が下がりにくいため

問10 東北地方の農業生産において、米の占める割合が他の地域に比べて非常に高い理由や背景を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)

1. 太平洋沿岸部で夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響により、野菜や果樹の栽培が困難で、米作に専念せざるを得なかったため。 2. 最上川や北上川などの流域に広がる平野部において、大規模な土地改良や機械化による効率的な稲作が発展したため。 3. 山がちで平地が少ない地形条件を克服するため、傾斜地を利用した棚田による稲作が、他の地域よりも大規模に行われたため。 4. 首都圏などの大消費地から距離があるため、鮮度が重視される野菜や乳製品よりも、輸送や保存に適した米の生産を選択したため。

問11 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込むことで、気温が上がらずに米などの作物の収穫量が減少することがあります。この冷たく湿った風の名称と、それによって引き起こされる災害の名称の組み合わせとして正しいものを、次の中から選びなさい。 (2017年 大分県公立入試 類似)

1. 風の名称：やませ、災害の名称：冷害 2. 風の名称：季節風、災害の名称：震災 3. 風の名称：フェーン現象、災害の名称：塩害 4. 風の名称：からっ風、災害の名称：干害

答え合わせ・解説

問1	答え 2 経済効果	地域の伝統行事が観光の目玉となることで、県外から訪れる人々が宿泊や食事、土産物の購入にお金を使います。これにより、祭りそのものの収益だけでなく、周辺のさまざまな産業に利益が広がる現象を指します。東北地方では、特に青森ねぶた祭や仙台七夕まつりなどの大規模な祭りが、地域経済を支える重要な柱となっています。
問2	答え 2 積雪の多い冬の農閑期に、屋内でできる貴重な現金収入源として技術が磨かれたため	東北地方は冬の寒さが厳しく、雪によって農業ができない期間（農閑期）が長く続きます。この期間に、地元で採れる木材や漆、鉄などの資源を加工し、屋内で副業として工芸品を作ることが奨励されたため、高度な技術が蓄積されました。なお、東北地方は6県で構成されており、五街道（東海道・中山道・甲州街道・日光街道・奥州街道）のうち、東北地方を通るのは奥州街道のみです。
問3	答え 4 青森県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」	青森県は「ねぶた祭り」、秋田県は竹竿に提灯を吊るす「竿燈（かんとう）祭り」、宮城県（仙台市）は「七夕祭り」がそれぞれ有名です。これらは東北三大祭りとも呼ばれ、各県の地理的・文化的背景と密接に結びついています。岩手県の代表的な祭りには「盛岡さんさ踊り」などがあり、ねぶた祭りとは異なります。
問4	答え 2 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くならだかな高原状の地形である。	東北地方の中央を走る奥羽山脈は、火山帯が重なり急峻な山々が連なるのが特徴です。一方、その東側（太平洋側）にある北上山地は、古い地層からなり、長年の浸食によってならだかな高原状の地形が広がっています。この地形の差は、農業や土地利用の仕方の違いにも繋がっています。
問5	答え 1 日本海側から吹き込む湿った季節風の影響を強く受けるため	若松は福島県の内陸部に位置する盆地であり、冬には日本海側から湿った冷たい季節風が吹き込みます。この季節風が奥羽山脈などの山地を越える際に雪を降らせるため、日本海側の気候に近い「多雪」という特徴を持ちます。一方、沿岸部の小名浜は、山脈によってこの季節風が遮られるため、冬は乾燥して晴天が多くなり、降雪日数が少なくなります。
問6	答え 3 寒流と暖流が交わる「潮目」が形成され、プランクトンが豊富に発生するため、多様な魚が集まる優れた漁場となる。	寒流である親潮と暖流である黒潮が交差する海域は「潮目（潮境）」と呼ばれます。ここでは栄養分が豊富に含まれ、プランクトンが大量に発生するため、それを餌とする多くの魚が集まり良好な漁場が形成されます。
問7	答え 4 漁業生産量と果実産出額が共に全国五位以内という高い水準にあり、国内貨物海上輸送量も東北地方で二番目に多い。	青森県は一次産業の生産力が極めて高く、漁業と果樹栽培の両分野で全国トップ5に入る実力を持っています。また、その生産を支える物流面においても、東北地方で第2位となる高い海上輸送量を誇っており、生産と流通が結びついた産業構造が確立されています。
問8	答え 2 福島県は東北地方の南端に位置しており、関東地方から新幹線などで北上する際の起点となる。	福島県は東北6県の中で最も南に位置しています。そのため、政治・経済の中心地である東京を含む関東地方から陸路で東北地方へ向かう際、鉄道（東北新幹線）や道路（東北自動車道）のいずれにおいても最初に通過する県であり、東北の南の玄関口としての役割を担っています。
問9	答え 1 湿った北西の季節風が奥羽山脈にぶつかり、上昇気流が発生するため	日本の冬はシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この乾いた風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、湿った空気となって日本列島に到達します。その風が奥羽山脈などの高い山々にぶつかって上昇することで雪雲が発達し、日本海側の地域に多くの降雪をもたらします。反対に、山を越えた太平洋側では乾燥した晴天が多くなります。
問10	答え 2 最上川や北上川などの流域に広がる平野部において、大規模な土地改良や機械化による効率的な稲作が発展したため。	東北地方は、庄内平野や北上盆地などの豊かな水資源と広大な平坦地に恵まれています。かつては冷害などの自然災害に悩まされてきましたが、品種改良や水利施設の整備、農地の集約化といった生産基盤の強化を進めたことで、日本を代表する米の供給地となりました。やませはむしろ冷害の原因となるため米作には不利に働きますが、それを克服するための技術革新が「米どころ」としての地位を支えています。
問11	答え 1 風の名称：やませ、災害の名称：冷害	オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東の風は「やませ」と呼ばれます。これが夏に長期間吹き続けると、東北地方の太平洋側を中心に日照不足や低温が続き、農作物の成長が妨げられます。特に主食である米が大きな被害を受けるこの災害を「冷害」と呼び、日本の東北地方における地理的課題の一つとなっています。

- 問1 宮城県の県庁所在地である仙台市のように、都道府県名と県庁所在地の都市名が異なる自治体があります。これと同じ条件にあてはまる「県名と県庁所在地名」の正しい組み合わせを選びなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 新潟県 — 新潟市 2. 青森県 — 青森市 3. 香川県 — 高松市 4. 佐賀県 — 佐賀市
- 問2 東京都を起点として北上し、埼玉県、茨城県、栃木県を通過した後、宮城県、岩手県を経て青森県へと至る、日本で最も長い距離を持つ国道があります。この国道のルートにおいて、栃木県と宮城県の間に位置し、東北地方の南の玄関口となっている県名を答えなさい。 (2022年 京都府公立入試 類似)
1. 新潟県 2. 山形県 3. 福島県 4. 秋田県
- 問3 東北地方の伝統行事に関する記述として、開催される県名とその内容が正しく組み合わせられているものはどれか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 宮城県 — 巨大な木造の山車をぶつけ合い、神への感謝を捧げる「ねぶた祭」が行われる。 2. 秋田県 — 提灯を米俵に見立てた竹竿を操り、五穀豊穡を祈る「竿燈まつり」が行われる。 3. 青森県 — 豪華絢爛な飾りを吊るした竹を街中に立て、商売繁盛を祈る「七夕まつり」が行われる。 4. 岩手県 — 提灯を灯した船を川に浮かべ、先祖の霊を送り出す「なまはげ」が行われる。
- 問4 宮城県仙台市宮城野区における、1998年と2025年の状況を記録した資料を比較した際、この地域の土地利用の変化について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. かつて大規模な建物が立ち並んでいた中野五丁目付近では、自然環境を保護するために広大な田畑へと土地利用が変化した。 2. 仙台市宮城野区全体において、急速な過疎化の影響で住宅地が激減し、かつての森林や山林が復元される変化が見られた。 3. かつて集落や田畑が広がっていた中野五丁目付近では、都市再開発や震災復興によって大規模な建物へと土地利用が変化した。 4. 港二丁目付近では、1998年時点で存在していた工場が、2025年には神社を中心とした伝統的な集落へと変化した。
- 問5 日本海側を流れる河川の月別平均流量を調査したところ、九月から十月にかけて流量が増える河川がある一方で、別の河川では四月の流量が一立方メートルを超え、冬場と比較して突出して多いという特徴が見られました。この、四月に流量が最大となる理由として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)
1. 春に発生する急速に発達した低気圧により、海から大量の海水が河川へ逆流するため 2. 梅雨前線が北上し、東北地方の日本海側で長期間の激しい降雨が続く時期にあたるため 3. シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、四月の日本海側に大量の雨をもたらすため 4. 冬の間に降り積もった大量の雪が、春の気温上昇によって解けて河川に流れ込むため
- 問6 津軽塗や天童将棋駒のように、東北地方の各地で古くから伝統的工芸品の生産が発達してきた背景には、この地域の気候条件が大きく関係しています。その理由として最も適切なものはどれですか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 一年を通して温暖な気候であり、原材料となる植物の栽培が容易だったから 2. 雪が多く冬の間は農作業ができないため、屋内でできる副業として行われたから 3. 夏期に雨が少なく農作業ができないため、代わりの産業として行われたから 4. 急速な工業化が進み、大規模な工場で製品を大量生産することが可能になったから
- 問7 秋田県の伝統文化や観光資源に関する記述として、最も適切な内容を選びなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)
1. 竿燈まつりでは、七夕の時期に合わせて豪華な七夕飾りを吊るした竹竿を街中で振り回す。 2. 角館の武家屋敷は、明治時代の文明開化によって急速に整備された洋風の建築物群として知られている。 3. 秋田県内で伝統的に受け継がれてきた武家屋敷の景観は、主に奥州藤原氏の時代に築かれたものである。 4. 国の重要無形民俗文化財に指定されている竿燈まつりは、五穀豊穡を願う行事としての側面を持っている。
- 問8 東北地方の山形県内を流れ、その下流域地に日本有数の穀倉地帯である庄内平野を形成している河川として、正しいものを選択してください。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 最上川 2. 阿武隈川 3. 雄物川 4. 北上川
- 問9 東北地方の工業の特色を説明した資料において、半導体などの電子部品を製造する工場が、高速道路のインターチェンジ付近や沿線に集中して分布している様子が見られます。このような立地傾向が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 三重県公立入試 類似)
1. 半導体の製造には広大な敷地が必要であり、地価の高い県庁所在地を避けて高速道路沿いの広大な農地を転用したから 2. 半導体は小型・軽量で付加価値が高いため、トラックを利用した高速道路による迅速な輸送に適しているから 3. 半導体の製造には大量の輸入資源が必要のため、高速道路を通じて大規模な港湾から直接原料を運ぶ必要があるから 4. 半導体工場は騒音や振動が激しいため、住民の少ない高速道路沿いや山間部に限定して建設が許可されているから
- 問10 日本海を南から北へ流れる暖流である「対馬海流」が、東北地方などの日本海側の気候に与える影響を説明したものとして、最も適切なものを選択肢から選びなさい。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 周辺の海水温を下げる働きがあるため、夏でも沿岸地域の気温が上がりにくく、涼やかな気候を保つ要因となる。 2. 夏に吹く冷たく湿った北東風（やませ）の勢力を弱めることで、東北地方全体の気温を上昇させ、猛暑の原因となる。 3. 冬に吹く北西の季節風がこの海流の上を通る際、水蒸気を多く取り込むことで、日本海側の地域に大雪をもたらす要因となる。 4. 北からの栄養豊富な海水を運ぶことで、冬の時期の日本海側における季節風を弱め、積雪量を抑える役割を果たしている。
- 問11 青森県の産業構造について述べた文として、統計データの「第1次産業の就業者割合が13.2%」「漁業生産量が約17万トン」という数値の背景を最も適切に説明しているものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候を活かしたリンゴ栽培などの果樹農業や、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした水産業が地域経済の基盤となっている。 2. 広大な土地を活かした大規模な畑作や酪農が中心であり、漁業生産量よりも農業出荷額の規模が全国で圧倒的な首位にある。 3. 太平洋側に位置する工業地域の一部として、輸送用機械などの製造業が発達しており、第2次産業が就業人口の大部分を占めている。 4. 人口密度が非常に高く、県庁所在地へのサービス業や商業の集中が進んでいるため、第3次産業の割合が周辺の県に比べて突出している。
- 問12 初夏から夏にかけて、東北地方の太平洋側沿岸部から内陸部に向かって、オホーツク海から冷たい風が継続して吹き込む気象条件が続いた場合、現地の農業に与える影響として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 日照時間が不足し、冷涼な気候によって稲の生長が妨げられる冷害が発生する。 2. 気温が大幅に上昇し、乾燥した風によって農作物の水分が奪われる。 3. 山脈を越えて乾いた風が吹き降ることによって、日本海側で干ばつの被害が広がる。 4. 暖かい湿った空気が供給されることで、熱帯夜が続き農作物の品質が向上する。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 香川県 ― 高松市	宮城県 宮城県の県庁所在地が仙台市であるように、香川県の県庁所在地は高松市であり、県名と都市名が異なります。一方、新潟県、佐賀県、青森県は、いずれも県名と県庁所在地名が同一の名称となっています。中学地理では、このように名称が異なる県庁所在地を正確に把握しておくことが重要です。
問2	答え 3 福島県	福島県 福島県は東北地方の最も南に位置しており、関東地方と東北地方を結ぶ交通の要所となっています。日本一の長さを誇る国道4号は、栃木県から福島県に入り、その後宮城県、岩手県を経て終点の青森県へと続きます。山形県や秋田県は東北地方の日本海側に位置しており、国道4号のルートからは外れます。
問3	答え 2 秋田県 ― 提灯を米俵に見立てた竹竿を操り、五穀豊穡を祈る「竿燈まつり」が行われる。	秋田県 秋田県で開催される竿燈まつりは、提灯を米俵、竹竿を稲穂に見立てるのが特徴で、五穀豊穡を願う行事です。青森県は「ねぶた祭」、宮城県は「仙台七夕まつり」が有名です。また、「なまはげ」は秋田県の男鹿半島に伝わる伝統行事であり、これらを混同しないように注意が必要です。
問4	答え 3 かつて集落や田畑が広がっていた中野五丁目付近では、都市再開発や震災復興によって大規模な建物へと土地利用が変化した。	宮城県 複数の年次の地形図を比較すると、その地域の景観や土地の使われ方（土地利用）がどのように変化したかを読み取ることができます。仙台市宮城野区の事例では、1998年時点では農業や小規模な居住が中心であった場所が、2020年代には東日本大震災からの復興や都市再開発を経て、商業施設や物流拠点などの大規模な建物へと変化している様子が記録されています。選択肢にある「住宅地の激減」や「工場から伝統的集落への変化」は、実際の土地利用の変化の傾向とは異なります。
問5	答え 4 冬の間に降り積もった大量の雪が、春の気温上昇によって解けて河川に流れ込むため	日本海側 日本海側の地域は、冬の季節風の影響で世界有数の豪雪地帯となります。冬の間に山地などに降り積もった雪は、春の訪れとともに気温が上がると解け出し、河川へと流れ込みます。この「融雪」と呼ばれる現象により、日本海側の河川では四月頃の流量が一年の中で最も多くなるという特徴があります。これに対し、太平洋側の河川などは九月から十月の台風の影響で流量が増える傾向にあります。
問6	答え 2 雪が多く冬の間は農作業ができないため、屋内でできる副業として行われたから	東北地方 東北地方などの日本海側は、冬に季節風の影響で雪が多く降る豪雪地帯が多く見られます。そのため、冬の期間は屋外での農作業ができない状態が続きます。農家の人々は貴重な現金収入を得るために、農閑期となる冬場に屋内で地元の資源を使った漆器や木工品などを作るようになり、これらが伝統的工芸品として各地に定着しました。
問7	答え 4 国の重要無形民俗文化財に指定されている竿燈まつりは、五穀豊穡を願う行事としての側面を持っている。	秋田県 秋田竿燈まつりは、真夏の病魔や邪気を払う「ねぶり流し」が起源とされ、竹竿を稲穂に、提灯を米俵に見立てて五穀豊穡を祈る、国の重要無形民俗文化財です。角館の武家屋敷群は江戸時代の武家文化を伝えるものであり、奥州藤原氏（岩手県平泉）や明治時代の洋風建築とは歴史的背景が異なります。
問8	答え 1 最上川	山形県 山形県を流れる最上川は、県内の盆地を潤しながら北上し、酒田市付近で日本海に注ぎます。その下流には、最上川が運んだ土砂によって形成された広大な沖積平野である庄内平野が広がっており、古くから大規模な稲作が行われてきました。一方、選択肢にある北上川は岩手県から宮城県へと流れる、東北地方で最も長い河川です。
問9	答え 2 半導体は小型・軽量で付加価値が高いため、トラックを利用した高速道路による迅速な輸送に適しているから	岩手県 半導体は「産業のコメ」とも呼ばれ、製品が小さく軽い一方で非常に価格が高い（付加価値が高い）という特徴があります。そのため、船や鉄道による大量輸送よりも、高速道路を利用したトラック輸送によって、必要な時に迅速に製品を運ぶことが重視されます。東北地方では東北自動車道などの高速道路網の整備に伴い、内陸部のインターチェンジ付近への工場進出が相次ぎました。
問10	答え 3 冬に吹く北西の季節風がこの海流の上を通る際、水蒸気を多く取り込むことで、日本海側の地域に大雪をもたらす要因となる。	対馬海流 暖流である対馬海流は、周囲の海水温を比較的高く保つ性質がある。冬になるとシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹き出す、この風が対馬海流の上を通過する際に大量の水蒸気を蓄える。その湿った空気が日本列島の山脈にぶつかることで、日本海側に世界的な多雪地帯を形成する原因となっている。
問11	答え 1 冷涼な気候を活かしたリンゴ栽培などの果樹農業や、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした水産業が地域経済の基盤となっている。	青森県 青森県は三方を海（日本海、太平洋、津軽海峡）に囲まれており、暖流と寒流が交わる好漁場に近いことから漁業生産量が多くなっています。また、やませの影響を受ける冷涼な気候はリンゴ栽培に適しており、これらの第1次産業が盛んなことが、統計における就業者割合の高さに直結しています。静岡県のような工業出荷額の大きさや、北海道のような圧倒的な面積による生産規模とは異なる、東北地方特有の産業構造を理解することが重要です。
問12	答え 1 日照時間が不足し、冷涼な気候によって稲の生長が妨げられる冷害が発生する。	北海道 北東から吹き込む「やませ」は冷たく湿った性質を持っているため、この風が長期間吹き続けると太平洋側を中心に気温が上がらず、霧が発生して日照時間が減少します。特に稲の開花や結実の時期に重なると、収穫量が激減する「冷害」の原因となります。このため、東北地方では冷害に強い品種（ササニシキからひとめぼれ等への転換など）の改良が行われてきました。

問1 東北地方の農業統計において、各県の土地利用の状況を比較したとき、青森県は総面積が広いものの、その総面積に対する耕地面積の割合は約15.5%にとどまります。これに対し、宮城県は約17.2%と青森県よりも高い割合を示しています。このように、宮城県において総面積に対する耕地面積の占める割合が比較的高くなっている地理的要因と、その農業の特徴として最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 県内に仙台平野という広大な平坦地を有しており、そこでの稲作を中心とした農業が古くから発展しているため。
2. 北上山地を中心とした大規模な畜産業が展開されており、飼料を生産するための耕地が県全域に分散しているため。
3. 蔵王山麓の傾斜地を果樹園として大規模に開墾しており、リンゴやサクランボの産出額が県全体の農業産出額の過半数を占めるため。
4. 県の総面積が東北地方で最小であるため、実際の耕地面積が狭くても統計上の数値が自動的に高くなる傾向があるため。

問2 2013年の農業産出額の統計において、米の割合が34.6%と最も高く、次いで畜産が30.0%を占めている地域の農業的特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

1. 平地が少ないため、傾斜地を利用したみかんやぶどうなどの果樹栽培の割合が最も高い。
2. 大消費地に近い利点を生かし、野菜の産出額が全体の4割を超える近郊農業が中心となっている。
3. 広大な土地を活用した畜産業が最も盛んであり、産出額の5割以上を豚や肉用牛が占めている。
4. 冷害対策などの品種改良を進め、米の単作地帯から畜産や果樹を組み合わせた複合経営への転換が進んでいる。

問3 東北地方南部に位置する福島県では、高速道路の沿線などに「工業団地」が多く造成されている。このように、福島県で内陸部の工業が発展した背景として最も適切な説明はどれか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)

1. 高速道路などの交通網を利用することで、東京などの大都市圏へ製品を迅速に輸送できるため。
2. 大規模な稲作を行うための広大な土地が不足しており、農業から工業への転換を急いだため。
3. リアス海岸を利用した港湾施設が未発達であり、陸上輸送に頼らざるを得ないため。
4. 内陸部は海沿いに比べて冬の降雪量が非常に少なく、工場の操業を安定させやすいため。

問4 東北地方の太平洋側に位置し、岩手県の南、福島県の北に隣接する県があります。この県は北部において海岸線が複雑に入り組んだ地形を持ち、その穏やかな波を利用してカキやワカメなどの「育てる漁業」が盛んなことで知られています。この県の名前を次の中から選びなさい。 (2019年 広島県公立入試 類似)

1. 山形県
2. 秋田県
3. 宮城県
4. 福島県

問5 日本の農業試験場では、水田に複数の品種名が書かれた立て札を立て、それぞれの生育状況を比較する試験栽培が行われています。東北地方において、このような研究が特に重視されてきた地理的・気象的背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)

1. 冬の季節風がもたらす豪雪による農作物の倒伏を防ぎ、収穫時期を春先に早めるため。
2. 越後山脈を越えて日本海側に吹き下りる乾燥した高温の風による干害を防ぐため。
3. 夏季に太平洋側から吹き込む冷たい風によって発生する冷害の影響を最小限にするため。
4. 梅雨の時期に雨が降らない空梅雨（からつゆ）による深刻な水不足を克服するため。

問6 東北地方の都道府県の位置関係について述べた文として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)

1. 岩手県と青森県は直接接しておらず、間に秋田県が位置している。
2. 秋田県と山形県は直接接しておらず、間に宮城県が位置している。
3. 青森県と秋田県は直接接しておらず、間に岩手県が位置している。
4. 福島県と岩手県は直接接しておらず、間に宮城県が位置している。

問7 日本の各地域における農業産出額の品目別割合を比較したとき、米の割合が約35%に達し、提示された他の地域と比べて米の比率が極めて高いという特徴を持つ地域はどこですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

1. 関東地方
2. 東北地方
3. 近畿地方
4. 九州地方

問8 東北地方の地図において、奥羽山脈の西側（日本海側）から青森県にかけての広い範囲が共通の気候区分として示されることがあります。この地域の冬の気候メカニズムと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)

1. 冬の季節風が奥羽山脈を越えて乾燥した風として吹き下ろすため、雪はほとんど降らず、1月の降水量は100mm未満と非常に少なくなる。
2. 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響が冬まで残るため、1年を通じて降水量が多く、1月の平均気温は氷点下にはならないが日照時間が極端に短い。
3. 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、それが奥羽山脈などの山地にぶつかることで雪を降らせるため、1月の平均気温が氷点下になるなど寒さが厳しい。
4. 太平洋側から吹き込む暖かくて湿った空気の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、1月の平均気温が氷点下になることはほとんどない。

問9 日本の地域区分に関する問題です。日本地図において岩手県の位置が示されているとき、この県が含まれる地方区分の名称として正しいものを選びなさい。 (2018年 北海道公立入試 類似)

1. 近畿地方
2. 中部地方
3. 東北地方
4. 関東地方

問10 東北地方の果樹栽培について、2015年の統計でりんごの収穫量が全国1位であり、西洋なしの収穫量でも全国2位となっている県はどこですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)

1. 福島県
2. 山形県
3. 青森県
4. 岩手県

問11 岩手県の伝統的工芸品である南部鉄器は、近年ではデザイン性の高いカラフルな急須が開発されるなど、海外でも高い評価を得ています。このような「伝統的工芸品」が指定を受けるための条件や背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)

1. 100年以上の歴史があり、日常生活で使用されるものを、伝統的な原材料と熟練した手仕事によって製造している。
2. 地域の観光客向けのお土産品として戦後に新しく考案されたもので、歴史的な背景は問われない。
3. 最新の全自動機械を導入した工場で大規模生産を行うことにより、品質の均一化と低価格化を実現している。
4. 原材料には必ず海外から輸入した希少な鉱物を使用し、最新の科学技術を用いて加工しなければならない。

問12 東北地方の産業について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「東北地方の山間部や積雪の多い地域では、冬の（X）を利用した（Y）として、漆器や鉄器などの製作が古くから行われてきた。これらは現在、伝統的工芸品として指定されているものも多い。」 (2017年 岡山県公立入試 類似)

1. X：農閑期 Y：副業
2. X：農繁期 Y：副業
3. X：農閑期 Y：商業
4. X：農繁期 Y：工業

答え合わせ・解説

問1	答え 1 県内に仙台平野という広大な平坦地を有しており、そこでの稲作を中心とした農業が古くから発展しているため。	宮城県は、県内に仙台平野という広大な平野を抱えているため、山地が多い他の県と比較して、県の面積に対する耕地面積の割合が高くなる傾向にあります。この平野部を利用した米づくりが盛んであり、統計上も青森県（約15.5%）を上回る約17.2%という数値に表れています。選択肢にある岩手県の畜産や、秋田・山形の米産出額に関する誤った統計数値の解釈に惑わされず、地形と土地利用の関係を理解することが重要です。
問2	答え 4 冷害対策などの品種改良を進め、米の単作地帯から畜産や果樹を組み合わせた複合経営への転換が進んでいる。	東北地方はかつて米の単作地帯でしたが、冷害の克服や生産調整（減反政策）への対応として、畜産や果樹、野菜などを組み合わせた農業へと多角化が進みました。その結果、依然として米の比率は全国的に見て高いものの、畜産なども大きな割合を占める構成となっています。畜産が5割を超えるのは九州、野菜が4割を超えるのは関東などの特徴です。
問3	答え 1 高速道路などの交通網を利用することで、東京などの大都市圏へ製品を迅速に輸送できるため。	福島県は東北自動車道や常磐自動車道といった高速道路網が充実しており、関東地方という巨大な消費地に近い利点がある。かつて日本の工業は臨海部に集中していたが、高速道路の整備によって、内陸部でも部品の調達や製品の出荷が効率的に行えるようになったため、福島県的高速道路沿いには多くの工業団地がつくられるようになった。
問4	答え 3 宮城県	宮城県は東北地方の太平洋側に位置しています。県北部の海岸線は、山地が海に沈んでできた複雑な凹凸を持つリアス海岸となっており、波が穏やかな湾内ではカキや海苔などの養殖業が発達しています。また、県庁所在地の仙台市は東北地方唯一の政令指定都市であり、経済や文化の中心地となっています。
問5	答え 3 夏季に太平洋側から吹き込む冷たい風によって発生する冷害の影響を最小限にするため。	東北地方、特にその太平洋側では「やませ」による冷害が歴史的に繰り返されてきました。水田で異なる品種の生育状況を比較するのは、どの品種が低温（冷害）に対して強い耐性を持っているかを科学的に評価するためです。これにより、「ひとめぼれ」などの冷害に強く味も良い品種が普及し、気象条件に左右されにくい農業体制が整えられてきました。
問6	答え 4 福島県と岩手県は直接接しておらず、間に宮城県が位置している。	東北地方の太平洋側に位置する県のうち、福島県と岩手県は陸地で直接接しておらず、その間に宮城県が位置しています。選択肢に挙げられた他の県同士（青森県と秋田県、秋田県と山形県、岩手県と青森県）はいずれも互いに隣接しています。
問7	答え 2 東北地方	日本の「穀倉地帯」と呼ばれる東北地方は、広大な平野を活用した稲作が盛んです。農業産出額の構成において、全国平均と比較しても米の占める割合が高いのが最大の特徴です。一方で、九州地方は畜産の割合が、関東地方は近郊農業の影響で野菜の割合が高くなる傾向にあります。
問8	答え 3 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、それが奥羽山脈などの山地にぶつかることで雪を降らせるため、1月の平均気温が氷点下になるなど寒さが厳しい。	東北地方の日本海側や青森県では、冬にシベリア大陸から吹き出す湿った冬の季節風が奥羽山脈に遮られることで、世界でも有数の豪雪地帯となります。また、緯度が高いことや山地の影響により、1月の平均気温が0度を下回る氷点下（0度未満）の厳しい寒さになることが特徴です。一方、1月の降水量が少なくなるのは山脈の風下にあたる太平洋側の特徴であり、8月の平均気温が低くなるのは「やませ」の影響を受ける太平洋側の特徴です。
問9	答え 3 東北地方	岩手県は本州の北東部に位置し、青森県、秋田県、宮城県、山形県、福島県とともに構成される地方に含まれます。この地方は、中央を奥羽山脈が走り、太平洋側と日本海側で気候や産業に違いが見られるのが特徴です。
問10	答え 3 青森県	青森県はりんごの生産量が全国の約半分を占める日本一の産地です。また、西洋なしの生産においても山形県に次いで全国2位となるなど、冷涼な気候を活かした果樹栽培が盛んに行われています。対して、西洋なしで1位、りんごで3位となるのは山形県です。
問11	答え 1 100年以上の歴史があり、日常生活で使われるものを、伝統的な原材料と熟練した手仕事によって製造している。	「伝統的工芸品産業の振興に関する法律（伝産法）」に基づき、100年以上の歴史があること、日常生活で使われるものであること、製造工程の主要部分が手作りであることなどが指定の条件となっています。南部鉄器は江戸時代に南部藩や伊達藩の保護を受けて発展した歴史があり、現在でもその技術を継承しながら、時代の変化に合わせて新たな市場を開拓しています。
問12	答え 1 X：農閑期 Y：副業	冬の積雪により農業を休まなければならない時期を「農閑期」と言います。この期間に現金収入を得るために行われた仕事が「副業」です。東北地方の伝統的工芸品の多くは、厳しい自然環境の中で、生活を支えるための知恵として育まれてきました。対義語である「農繁期」は、田植えや稲刈りなどの農作業が忙しい時期を指します。

- 問1 北海道の知床半島は、世界自然遺産に登録されています。この地域の生態系に大きな影響を与えている、冬にオホーツク海から押し寄せる「流氷」に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 流氷が運んでくる植物プランクトンが、魚類や海獣、さらには陸上の生物までをつなぐ豊かな食物連鎖を支えている。 | 2. 流氷が海岸を激しく削ることで、三陸海岸のような複雑なリアス海岸が形成される要因となっている。 | 3. 流氷が押し寄せることで海水の温度が上昇し、周辺海域で暖流系の魚を一年中漁獲することが可能になっている。 | 4. 流氷の存在によって冬の観光客が途絶えるため、地域経済は夏のサケ漁のみに完全に依存している。 |
|--|---|--|--|
- 問2 岩手県を代表する伝統的工芸品である「南部鉄器」の特徴や背景について述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などに代表される頑丈で独特の質感を持つ鋳造品である。 | 2. ブナやスギなどの豊富な森林資源を利用し、樹皮を加工して作る木工品である。 | 3. 日本海側の気候を生かした漆塗りの技術が特徴で、主に高級な食器として発展した。 | 4. 京都から伝わった高度な織物の技術を背景に、華やかな模様の衣服として普及した。 |
|---|---|---|---|
- 問3 東北地方の太平洋側において、初夏から夏に吹く冷たく湿った北東の風による「冷害」を防ぐための農業上の工夫として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|-----------------------------|-----------------------|----------------------------|
| 1. 寒さに強い稲の品種改良を行う | 2. 大規模なダムを建設し、常に高温の灌漑水を確保する | 3. 冬の期間に小麦を作る二毛作を推進する | 4. ビニールハウスを用いた熱帯果実の栽培に転換する |
|-------------------|-----------------------------|-----------------------|----------------------------|
- 問4 東北地方の農業統計において、ある農作物の栽培面積が占める割合を見ると、青森県で18.1%、山形県で9.6%、福島県で6.2%となっており、岩手県・秋田県・宮城県の数値に比べて際立って高い数値を示しています。この統計で示された農作物の分類として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| 1. 果樹 | 2. 野菜 | 3. 麦類 | 4. 稲 |
|-------|-------|-------|------|
- 問5 東北地方の都市について説明した次の文のうち、宮城県の県庁所在地である仙台市の特徴を正しく説明しているものを選びなさい。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 日本海側に位置し、最上川の舟運の拠点として発展した山形県の県庁所在地である。 | 2. 阿武隈川沿いに位置し、福島県の行政の中心地として交通の要所となっている。 | 3. 東北地方唯一の政令指定都市であり、国や企業の出先機関が集まる支店経済都市としての側面を持つ。 | 4. 古くから城下町として栄え、現在は岩手県の県庁所在地として北東北の拠点となっている。 |
|---|---|---|--|
- 問6 夏の東北地方において、オホーツク海高気圧から太平洋側に吹き込み、奥羽山脈の東側で気温が上がらなくなる原因となる冷たく湿った風を何といいますか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|-----------|---------|
| 1. モンスーン | 2. やませ | 3. フェーン現象 | 4. からっ風 |
|----------|--------|-----------|---------|
- 問7 岩手県盛岡市などの統計において、1993年や2003年には7月・8月の平均気温が摂氏20度を下回るほど低くなり、これに伴って米の収穫量が平年の半分以下まで激減したことが記録されています。このような深刻な冷害を引き起こした気象現象の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 夏に南方の海洋から吹き込む、高温で湿った南東の季節風の影響 | 2. 冬に日本海側から山を越えて太平洋側に吹く、乾燥した北西の風の影響 | 3. 夏にオホーツク海側から吹き込む、冷たく湿った北東の風の影響 | 4. 夏に山を越えて吹き下ろす、高温で乾燥した風の影響 |
|----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|
- 問8 高速道路沿いに整備された工業団地には、輸送しやすく付加価値が高い製品を製造する工場が多く立地する傾向があります。東北地方において、高速道路沿いにこの種類の工場が多く集まっていることから「シリコンロード」とも呼ばれますが、そこで主に生産されている製品はどれですか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------|---------|---------------|
| 1. 石油化学製品 | 2. 鉄鋼 | 3. セメント | 4. 半導体 (集積回路) |
|-----------|-------|---------|---------------|
- 問9 東北地方の伝統文化について、都道府県名とその地域を代表する祭りの内容や特徴の説明として、最も適切な組み合わせを選んでください。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 岩手県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」 | 2. 宮城県 — 多数の提灯を吊るした長い竹竿を稲穂に見立てて操る「竿燈祭り」 | 3. 青森県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」 | 4. 秋田県 — 豪華な吹き流しや短冊などの飾りを竹に吊るす「七夕祭り」 |
|---------------------------------------|---|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問10 日本の東北地方南部に位置し、平均標高が226mで、西部に平野、中央部には火山とその南側に広がる猪苗代湖などの深い湖が見られる地域において、病害虫の影響が少ない東部で特に生産が盛んな農産物として正しいものを選びなさい。 (2023年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. ごぼう | 2. ピーマン | 3. きゅうり | 4. レタス |
|--------|---------|---------|--------|
- 問11 東北地方の太平洋側の自然環境と農業への影響について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 複雑に入り組んだ海岸線を持つ地域に、夏に冷たい北東の風が吹き込むことで気温が上がらず、寒冷な状況となって冷害が発生することがある。 | 2. 対馬海流の影響で冬でも温暖な気候が保たれ、平坦な海岸線を利用した野菜の促成栽培が広く行われている。 | 3. 冬に北西から吹く季節風が山を越えて乾燥した風となり、太平洋側の入り組んだ海岸線一帯に大規模な乾燥注意報をもたらす。 | 4. 黒潮（日本海流）の影響を強く受けるため、夏は非常に高温多湿となり、入り組んだ海岸線を利用した稲作が盛んに行われている。 |
|--|--|--|--|
- 問12 初夏から夏にかけて、オホーツク海高気圧から東北地方の太平洋側に向かって吹き込む、冷たく湿った北東方向の風を何と呼びますか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1. フェーン | 2. やませ | 3. 季節風 | 4. からっ風 |
|---------|--------|--------|---------|
- 問13 東北地方の物流に関する統計において、国内貨物海上輸送量が約六千五百四十一千トンに達し、東北六県の中で二番目に多い数値を示している県はどこですか。その県の産業的特徴とあわせて選びなさい。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------------------|
| 1. さくらんぼの生産が盛んで、内陸工業が発達している山形県 | 2. 米の生産量が全国有数で、日本海に面した秋田県 | 3. 桃の産出額が多く、京浜葉工業地帯に近い福島県 | 4. 漁業生産量と果実産出額が共に全国上位五位以内の青森県 |
|--------------------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 流水が運んでくる植物プランクトンが、魚類や海獣、さらには陸上の生物までをつなぐ豊かな食物連鎖を支えている。	知床半島が世界遺産に登録された大きな理由の一つは、流氷がもたらす豊かな生態系です。流氷の下には植物プランクトンが豊富に含まれており、それが小魚や魚、さらにはそれを食べるアザラシやワシ、ヒグマといった陸上の生物までを支える独特の食物連鎖を形成しています。
問2	答え 1 盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などに代表される頑丈で独特の質感を持つ鋳造品である。	南部鉄器は岩手県の北上川流域などで得られる砂鉄や岩鉄、粘土などを原料として発展しました。鉄を溶かして型に流し込む「鋳造（ちゅうぞう）」という技法が用いられており、その重厚な風合いと高い耐久性が特徴です。他の選択肢にある漆器、織物、木工品とは、素材や製造工程において明確に区別されます。
問3	答え 1 寒さに強い稲の品種改良を行う	やませによる低温（冷害）から稲作を守るため、東北地方では「ひとめぼれ」などに代表される、低温に強く味の良い品種の開発（品種改良）が盛んに行われてきました。また、育苗期に苗を低温から守る工夫なども組み合わせて、気象条件に左右されにくい農業を目指しています。
問4	答え 1 果樹	東北地方では、県ごとに特色ある農業が行われています。青森県ではりんご、山形県ではさくらんぼ、福島県では桃といったように、特定の農産物を重点的に生産する傾向があります。これらの作物は「果樹」に分類され、当該県における栽培面積の割合も、他の東北3県（岩手・秋田・宮城）と比較して高くなっているのが特徴です。
問5	答え 3 東北地方唯一の政令指定都市であり、国や企業の出先機関が集まる支店経済都市としての側面を持つ。	仙台市は宮城県に位置する東北地方最大の都市です。東北地方全体の経済や行政を統括する国の出先機関や企業の支店が多く集中していることから、広域中心都市としての性格が強いのが特徴です。選択肢にある盛岡市は岩手県、福島市は福島県、山形市は山形県の県庁所在地であり、それぞれ異なる特徴を持っています。
問6	答え 2 やませ	この風は北東の海から吹き込み、冷たく湿った空気を運んできます。東北地方を南北に走る奥羽山脈に遮られることで太平洋側の地域に留まりやすく、夏でも気温が上がらない原因となります。冬に関東地方などで吹く「からっ風」や、山を越えた風が高温になる「フェーン現象」とは異なる特徴を持ちます。
問7	答え 3 夏にオホーツク海側から吹き込む、冷たく湿った北東の風の影響	東北地方の太平洋側で記録された平均気温の低下と米の減収は、冷たく湿った北東の風である「やませ」による冷害が原因です。特に1993年は歴史的な記録不足（平成の米騒動）として知られています。選択肢にある「山を越えて吹き下ろす高温で乾燥した風」はフェーン現象、「冬に吹く乾燥した北西の風」はからっ風の説明であり、これらは冷害の直接的な原因とはなりません。
問8	答え 4 半導体（集積回路）	半導体や電子部品は、小型で軽量なわりに価格が高い（軽量高付加価値）ため、輸送コストの影響を受けにくく、トラックや航空機での輸送に適しています。また、東北地方はきれいな水や空気が豊富で、精密機械の洗浄などに適していることも集積の理由の一つです。鉄鋼や石油化学製品は、原料を海外から大量に輸入する必要があるため、内陸部ではなく臨海部に工場が立地します。
問9	答え 3 青森県 ― 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」	青森県は「ねぶた祭り」、秋田県は竹竿に提灯を吊るす「竿燈（かんとう）祭り」、宮城県（仙台市）は「七夕祭り」がそれぞれ有名です。これらは東北三大祭りとも呼ばれ、各県の地理的・文化的背景と密接に結びついています。岩手県の代表的な祭りには「盛岡さんさ踊り」などがあり、ねぶた祭りとは異なります。
問10	答え 1 ごぼう	この地域は福島県付近の特徴を示しています。中央部に火山や日本有数の深さを誇る猪苗代湖を擁するこのエリアでは、地形や気候に合わせた農業が行われています。特に病害虫の被害を抑えやすい東部の環境を活かして「ごぼう」の栽培が盛んに行われており、地域の重要な特産物となっています。
問11	答え 1 複雑に入り組んだ海岸線を持つ地域に、夏に冷たい北東の風が吹き込むことで気温が上がらず、寒冷な状況となって冷害が発生することがある。	東北地方の太平洋側にあるリアス海岸付近では、夏に吹く北東の風（やませ）が寒冷な気候を招くことが知られています。この風はオホーツク海上の冷たい空気を含んでいるため、長期間吹くと日照不足や低温をもたらす、農作物の生育に悪影響を与えます。選択肢にある黒潮や対馬海流は暖流であり、冷害の説明としては誤りです。
問12	答え 2 やませ	オホーツク海で発達した高気圧から流れ込むこの風は、低温で湿っているのが特徴です。主に東北地方の太平洋側に影響を及ぼし、夏場の気温が上がらない原因となります。これに対して「からっ風」は冬に山を越えて吹く乾燥した風を指します。
問13	答え 4 漁業生産量と果実産出額が共に全国上位五位以内の青森県	青森県は、東北地方において第2位となる六千五百四十一千トンの国内貨物海上輸送量を記録しており、海上輸送の拠点としての役割を担っています。これは、同県が全国五位以内に入る漁業生産量や果実産出額を支える重要な物流基盤となっており、生産と輸送の両面で東北の産業を牽引していることを示しています。

問1 東北地方を東西に分断するようにそびえる奥羽山脈は、この地域の冬の気候に大きな影響を与えています。その地形的特徴と気候の関係について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 太平洋側から吹く湿った季節風が奥羽山脈によって遮断されるため、太平洋側のみ大雪が降り、日本海側は常に乾燥する。 | 2. 奥羽山脈が冬の冷たい季節風を完全に防ぐ壁となるため、山脈より南側の地域では雪が全く降らなくなる。 | 3. 奥羽山脈が非常に低いため季節風がそのまま通過し、東北地方の全域で日本海側から太平洋側まで均一に雪が降り積もる。 | 4. 日本海側からの湿った季節風が奥羽山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に大雪をもたらし、太平洋側には乾燥した空気を運ぶ。 |
|--|---|--|--|

問2 岩手県を代表する伝統的工芸品である「南部鉄器」の特徴や背景について述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 日本海側の気候を生かした漆塗りの技術が特徴で、主に高級な食器として発展した。 | 2. 盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などに代表される頑丈で独特の質感を持つ鋳造品である。 | 3. ブナやスギなどの豊富な森林資源を利用して、樹皮を加工して作る木工品である。 | 4. 京都から伝わった高度な織物の技術を背景に、華やかな模様の衣服として普及した。 |
|---|---|--|---|

問3 オホーツク海から東北地方の太平洋側へ向かって吹く北東の風「やませ」が、夏の間も長期間にわたって吹き続けた場合、この地域の農業にはどのような影響が出ると考えられますか。 (2016年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 気温が上がらず日照時間も不足するため、稲などの作物の生育が悪くなる冷害が発生する。 | 2. 大雨を伴う強風が続くため、河川の氾濫によって農地が浸水する洪水被害が発生する。 | 3. 乾燥した強い風によって農地の水分が奪われ、農作物が枯れてしまう干害が発生する。 | 4. 急激な気温上昇をもたらす、農作物が乾燥して品質が低下するフェーン現象が発生する。 |
|--|--|--|---|

問4 山形県の北西部に位置し、日本を代表する河川の一つである最上川との関わりが深い都市について、その地理的特徴や産業を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 北上川の流域に位置し、古くから東北地方の政治・経済の中心として発展してきた仙台市。 | 2. 標高の高い山々に囲まれた盆地に位置し、最上川の上流部で果樹栽培が盛んな山形市。 | 3. 日本一の長さを誇る信濃川の河口に位置し、大規模な穀倉地帯を背後に持つ港湾都市である新潟市。 | 4. 庄内平野で生産された銘柄米の集散地として発展し、最上川の河口に位置する港町である酒田市。 |
|--|--|--|---|

問5 日本の地方別の特徴について、ある地方では面積割合（約17.7%）が人口割合（約7.1%）の2倍以上となっています。このデータから読み取れる東北地方の実情と、比較対象となる他の地方との関係について述べた文として正しいものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 広大な面積に対して人口が少ないため人口密度は低く、人口が集中する関東地方などとは対照的な指標を示す。 | 2. 面積割合と人口割合の差が小さいため、中部地方と同様に人口が各県に分散し、全国平均に近い人口密度を保っている。 | 3. 人口密度が全国で最も低い水準にあるため、東北地方には人口が100万人を超える都市や政令指定都市は一つも存在しない。 | 4. 人口割合が面積割合を大きく下回っているのは、広大な土地のすべてが工業地帯として利用され、居住に適さない場所が多いからである。 |
|---|---|--|---|

問6 宮城県の県庁所在地である仙台市のように、都道府県名と県庁所在地の都市名が異なる自治体があります。これと同じ条件にあてはまる「県名と県庁所在地名」の正しい組み合わせを選びなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 香川県 — 高松市 | 2. 新潟県 — 新潟市 | 3. 青森県 — 青森市 | 4. 佐賀県 — 佐賀市 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|

問7 東北地方の略地図上に、日本海側の海岸から太平洋側の海岸へ向けて横断するように直線を引き、その線に沿った標高の変化を「地形断面図」として表したとします。このとき、最も適切な地形の特徴を説明しているものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 中央部に奥羽山脈が位置するため、断面の中央付近の標高が最も高く、東西の両海岸付近が低地になっている。 | 2. 東西の両海岸付近に高い山地が連なっており、中央部は大規模な平野や盆地のみで構成されている。 | 3. 全域にわたって標高の変化がほとんど見られず、日本海側から太平洋側まで平坦な土地が続いている。 | 4. 日本海側から太平洋側にかけて標高がなだらかに下がり続け、東端の海岸で最も標高が低くなっている。 |
|---|--|---|--|

問8 東北地方の産業について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「東北地方の山間部や積雪の多い地域では、冬の（X）を利用した（Y）として、漆器や鉄器などの製作が古くから行われてきた。これらは現在、伝統的工芸品として指定されているものも多い。」 (2017年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. X：農閑期 Y：副業 | 2. X：農閑期 Y：商業 | 3. X：農繁期 Y：工業 | 4. X：農繁期 Y：副業 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|

問9 宮城県仙台市宮城野区における、1998年と2025年の状況を記録した資料を比較した際、この地域の土地利用の変化について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. かつて大規模な建物が立ち並んでいた中野五丁目付近では、自然環境を保護するために広大な田畑へと土地利用が変化した。 | 2. 仙台市宮城野区全体において、急速な過疎化の影響で住宅地が激減し、かつての森林や山林が復元される変化が見られた。 | 3. 港二丁目付近では、1998年時点で存在していた工場が、2025年には神社を中心とした伝統的な集落へと変化した。 | 4. かつて集落や田畑が広がっていた中野五丁目付近では、都市再開発や震災復興によって大規模な建物へと土地利用が変化した。 |
|---|--|--|--|

問10 江戸時代に河村瑞賢によって整備された「西廻り航路」が、当時の東北地方の物流や社会に与えた影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 外国船との貿易を目的とした航路として整備され、酒田港は清やオランダとの取引を行う国際貿易港として発展した。 | 2. 日本海沿岸の米などの物資が、瀬戸内海を経て大阪へ大量に輸送されるようになり、酒田などの寄港地が繁栄した。 | 3. 太平洋側の沿岸部を航行し、房総半島を回って直接江戸へ物資を運ぶことが可能になったため、東北の内陸開発が進んだ。 | 4. 最上川の下流から上流に向けて物資を運ぶ技術が向上したことで、内陸部の米を直接太平洋側の仙台へと運ぶ主要ルートとなった。 |
|--|---|--|--|

問11 東北地方の中央部を縦断する奥羽山脈が、この地域の気候に与える影響についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 夏の冷たい風である「やませ」を遮ることで、太平洋側の平野部における冷害の発生を完全に防いでいる。 | 2. 標高が非常に高いため、山脈を境に気温差が激しくなり、日本海側のみが一年中温暖な気候となっている。 | 3. 冬に吹く北西の季節風が山脈にぶつかると、日本海側に雪をもたらす、太平洋側を乾燥させる原因となっている。 | 4. 山脈が季節風を完全に遮断するため、東北地方の太平洋側では年間を通して降水量が極めて少なくなっている。 |
|---|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 日本海側からの湿った季節風が奥羽山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に大雪をもたらし、太平洋側には乾燥した空気を運ぶ。	東北地方の中央に位置する奥羽山脈は、冬に日本海から吹く湿った北西の季節風を遮る壁の役割を果たします。風が山脈を越える際に上昇して雪を降らせるため、日本海側は世界有数の豪雪地帯となります。一方で、山脈を越えて太平洋側に吹き下ろす風は水分を失って乾燥しているため、太平洋側では冬に晴天が多くなるという気候の地域差が生じます。
問2	答え 2 盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などに代表される頑丈で独特の質感を持つ鋳造品である。	南部鉄器は岩手県の北上川流域などで得られる砂鉄や岩鉄、粘土などを原料として発展しました。鉄を溶かして型に流し込む「鋳造（ちゅうぞう）」という技法が用いられており、その重厚な風合いと高い耐久性が特徴です。他の選択肢にある漆器、織物、木工品とは、素材や製造工程において明確に区別されます。
問3	答え 1 気温が上がらず日照時間も不足するため、稲などの作物の生育が悪くなる冷害が発生する。	やませは冷たく湿った空気を運んでくるため、濃い霧が発生しやすく、日照不足と低温をもたらします。特に開花期や結実期の稲にとって、この低温は致命的なダメージとなり、収穫量が著しく減少する「冷害」を引き起こします。かつて東北地方では、このやませによる飢饉が何度も発生しました。
問4	答え 4 庄内平野で生産された銘柄米の集散地として発展し、最上川の河口に位置する港町である酒田市。	山形県の最上川河口に位置する酒田市は、背後に広大な庄内平野を抱えています。この平野は日本有数の穀倉地帯であり、酒田は江戸時代から銘柄米の集積・出荷を担う港町として繁栄しました。選択肢にある信濃川は新潟県、北上川は主に岩手県から宮城県にかけて流れる河川であるため、最上川の河口に位置するという条件に合致するのは酒田市です。
問5	答え 1 広大な面積に対して人口が少ないため人口密度は低く、人口が集中する関東地方などとは対照的な指標を示す。	東北地方は、面積割合が約18%に対して人口割合が約7%と、土地の広さに対して人口が少ないという特徴があります。これにより、人口密度は全国的に見て低くなります。これは、狭い面積に膨大な人口が集中する関東地方などの都市圏とは正反對の統計的傾向です。なお、東北地方にも宮城県の仙台市のような政令指定都市は存在しており、地方内での人口分布には偏りも見られます。
問6	答え 1 香川県 ― 高松市	宮城県の県庁所在地が仙台市であるように、香川県の県庁所在地は高松市であり、県名と都市名が異なります。一方、新潟県、佐賀県、青森県は、いずれも県名と県庁所在地名が同一の名称となっています。中学地理では、このように名称が異なる県庁所在地を正確に把握しておくことが重要です。
問7	答え 1 中央部に奥羽山脈が位置するため、断面の中央付近の標高が最も高く、東西の両海岸付近が低地になっている。	東北地方の中央部には、日本の「脊梁（せきりょう）」とも呼ばれる奥羽山脈が南北に走っています。日本海側から太平洋側へ東西に断面をとると、この奥羽山脈にあたる中央部分の標高が最も高くなり、その両側には庄内平野や仙台平野などの低地が広がっている様子がわかります。
問8	答え 1 X：農閑期 Y：副業	冬の積雪により農業を休まなければならない時期を「農閑期」と言います。この期間に現金収入を得るために行われた仕事が「副業」です。東北地方の伝統的工芸品の多くは、厳しい自然環境の中で、生活を支えるための知恵として育まれてきました。対義語である「農繁期」は、田植えや稲刈りなどの農作業が忙しい時期を指します。
問9	答え 4 かつて集落や田畑が広がっていた中野五丁目付近では、都市再開発や震災復興によって大規模な建物へと土地利用が変化した。	複数の年次の地形図を比較すると、その地域の景観や土地の使われ方（土地利用）がどのように変容したかを読み取ることができます。仙台市宮城野区の事例では、1998年時点では農業や小規模な居住が中心であった場所が、2020年代には東日本大震災からの復興や都市再開発を経て、商業施設や物流拠点などの大規模な建物へと変化している様子が記録されています。選択肢にある「住宅地の激減」や「工場から伝統的集落への変化」は、実際の土地利用の変化の傾向とは異なります。
問10	答え 2 日本海沿岸の米などの物資が、瀬戸内海を経て大阪へ大量に輸送されるようになり、酒田などの寄港地が繁栄した。	西廻り航路の整備により、東北地方の日本海側の物資（特に米）が、北陸・瀬戸内海を経由して経済の中心地である大阪へ安全かつ大量に運ばれるようになりました。この物流の要所となった酒田港（現在の山形県酒田市）は、「西の堺、東の酒田」と称されるほど商業的に大きな発展を遂げました。太平洋側を通るルートは東廻り航路と呼ばれます。
問11	答え 3 冬に吹く北西の季節風が山脈にぶつかることで、日本海側に雪をもたらし、太平洋側を乾燥させる原因となっている。	奥羽山脈は、冬の湿った北西季節風を遮る壁のような役割を果たしています。このため、風がぶつかる日本海側では世界的な豪雪地帯が形成される一方、山を越えた後の乾燥した空気が流れ込む太平洋側では、冬は晴天の日が多くなります。このように、山脈の存在が地域の気候特性を決定づける大きな要因となっています。